

「過去と今と未来」

校長 伊藤 俊幸

今年度は、会津支援学校にとっても、平成2年4月に開校をして、30年目を迎える節目の年でした。児童生徒、同窓会代表及び教職員でささやかではありましたがお祝いをして歴史を重ねました。

目を日本や世界全体に向けると、元号が平成から令和へと変わり、新たな歴史の始まりを感じる年となりました。次にラグビーワールドカップが日本各地で開催され、さくらのジャージを着た日本の活躍により大変な盛り上がりを見せました。ラグビーワールドカップで躍進した日本代表を支えたことば「ONE TEAM」が後にこの年の流行語大賞にも選ばれました。さらに現在、新型コロナウイルスの心配もあります。

5年後又は10年後の未来から今年を振り返ったときには、今年が様々な意味でターニングポイントの年であったと位置づけられているのかもしれない。

さて、今年の桜は例年よりも早く咲き出すかもしれないですね。桜のタイトルがついた曲はたくさんあります。その中で森山直太郎の「さくら」があります。ご存じでしょうか。一部歌詞をのせます。

“僕らはきっと待ってる 君とまた会える日々を
桜並木の道の上で 手を振り叫ぶよ
(中略)



さらば友よ また この場所で会おう
さくら舞い散る道の さくら舞い散る道の上で “

もうすぐ卒業式です。別れの時期がやってきます。でも別れは決してさびしいものではありません。なぜなら、その先には出会いが待っているのですから。そして、“またこの場所で会おう” 会津支援で学んだプライドを胸に持って。

「少し先を見据えて、今できることを」

進路指導部

「進路指導は卒業学年に行うだけのものではなく、小学部から高等部まで行っているすべての教育活動とそれに伴う保護者を含めた各関係機関との連携である。」が11月に行われた教職員進路セミナーで本校の職員で共有した内容です。将来の生活を考えるとともに、今できることを段階的に着実に積み上げていく重要性を改めて感じることができました。

小学部6年生による中学部の作業学習見学では、家庭班と工芸班の作業製品の素晴らしさに感動し、作業を行う中学部の生徒の姿を目の当たりにして、中学部での生活に大きく期待を持つ児童たちの姿がありました。中学部の就業体験学習では、教師の付き添いがありましたが、緊張感のある中で実際に事業所での日課や仕事を体験し、短時間での成長を見ることができました。今回、初開催となった高等部の教員による進路講話では、様々な事業所についての話を真剣に聞く中学部の生徒たちの姿がありました。高等部の「産業現場等における実習」では、外部の刺激・評価を受けたことで、学習への意識や価値観の変化、自信の向上さらに苦手なことへの積極的な取り組みにつながっていました。どの学部においても、日々の授業で得た力を土台にして、日常とは異なった場所や地域に出でがんばっている姿が成果としてみられています。

今年度の高等部卒業生の進路予定先は、生活介護事業所4名、就労継続支援A型事業所2名、就労継続支援B型事業所11名、一般就労12名となっております。

会津地区の福祉サービス事業所、企業様においては、中学部の就業体験、高等部の産業現場等における実習をはじめ、父母と教師の会方部別の施設見学会、教職員の研修や施設見学においてたくさんのご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

今後も地域の皆様や保護者の皆様と連携し、児童生徒が本校で学んだ成果を社会で発揮し、地域の中で自立した生活を送ることができるよう支援していきたいと思っております。

中学部、高等部の校内実習見学



産業現場等における実習



小学部

『豆まき集会』

今年の冬は例年になく雪不足。楽しみにしていた雪遊びは残念ながらほとんど行うことができませんでした。

2月3日には恒例の豆まき集会が開かれました。季節の行事を味わうことができるように事前の授業から「鬼のお面」や「まめ」・「ます」の制作などに取り組む学級が多くありました。当日は鬼が出てくるのが分かっていても怖がって腰が引けている児童や、遠くから見守るような児童もいましたが、多くの児童が鬼に向かって勇敢に豆をぶつける姿が見られました。お陰で今年も元気に過ごせそうです。



高等部

高等部の授業の一つとして「総合的な探究の時間」があります。これは、子どもたちに「生きる力」を身に付けさせることがとても重要であると考え、この力をはぐくむための具体的な取り組みとして時間が設定されているものです。1学年では、「会津の伝統工芸にふれてみよう」をテーマに蒔絵や陶器への絵付けなどを体験しました。また「職業について調べよう」ということで、インターネットや実習先から様々な職種を調べたり、実際に地域の福祉サービス事業所の方をお招きしたりして話を聞きました。2学年では、修学旅行で行った京都市内において、班の仲間と協力しながら、知識を深め合う自主研修を行ってきました。また、「働くこと」をテーマに、働く意味をもう一度整理して自分に適した仕事を考える学習も行いました。3学年では、「卒業後の生活」を見据え公共施設の利用の仕方を実際に体験したり、余暇活動を充実させたりするために「ヨガ」、「香りを楽しむ」といった内容を学習に取り入れ、生活の幅を広げる活動を楽しみました。



中学部

今年度中学部では、7月と12月の授業参観に、学部全体の「音楽的学習」と「体育的学習」の活動の様子を見ていただきました。音楽的な活動では、日頃、授業で取り組んでいる手話付きの合唱や合奏をグループごとに発表しました。体育的な活動では、会津学鳳中学校の交流学习でも実施した障害者スポーツ「ボッチャ」を学部縦割りのグループで対抗戦を行いました。生徒たちはいかにジャックボール（的）に自分のボールを近づけられるかを考え、かけひきをしながら真剣に取り組んでいました。当日の進行は、集会委員会の生徒が担当し、日頃の委員会活動の成果を発揮することができました。



ミラクルショット

編集後記

「今年度の発行を終えて」



今年度も、保護者の皆様、関係機関各位、地域の皆様に、学校の様々な活動をお伝えし、ご理解、ご協力、ご支援をいただくために、学校通信「創る」を発行してまいりました。授業公開等への地域の皆様の来校も増え、温かいお言葉、励ましをいただきました。今年度30周年を迎え、さらに学校教育を充実していくことができるように努力しているところです。

また、今年度も教育活動の一環として、多くの児童生徒が各種展覧会、スポーツ大会に出品、参加し、入賞を果たしました。そして、パワー祭りには、多くの方が来校し、祭りを盛り上げていただきました。さらに本校の作業製品をお買い上げいただきました。御礼申し上げます。3月には小学部、中学部、高等部合わせて60名が卒業します。今後とも温かいご支援をお願いいたします。

(文責 広報係 羽染)

